

・事件・事故等援護件数の特徴と推移

～ 2003年（平成15年）の特徴～

(1) 2003年における我が国在外公館等が取り扱った事件・事故に係わる援護件数の総数は14,473件(対前年比0.76%増)、総援護人数は17,417人(対前年比2.48%増)であった。2003年は、新型肺炎(SARS)、イラク戦争、テロによる旅行中の安全についての不安などから、海外渡航者数は前年比19.5%減の1329万6330人(332万6千人減、法務省調べ)と大幅に減少したにもかかわらず、援護件数がわずかながらも増加している。

(2) 上記の通り、毎年、海外渡航者数に増減はあるものの、海外渡航者数に占める在外公館における被援護者数の割合は継続して高くなってきており、依然、邦人が海外でトラブル等に遭遇する機会は増加傾向にあると言える。本統計の中で特に目に留まるものとしては、「犯罪加害」が508件から609件(対前年比19.9%増)へと昨年に引き続き大幅に増加している点である。また、「犯罪被害」が前年の7,109件から6,253件(対前年比12.0%減)と減少している一方で、旅券・財布等の遺失が2,167件から2,508件(対前年比15.7%増)と増加している。その他、ビジネス上のトラブル、出入国・査証関係のトラブル、外国人配偶者及び子供の問題等に係わる援護案件が増加しており、日本人の外国社会との関係が深まる中、トラブルの内容も多種多様化している傾向が窺える。

(3) 犯罪加害の主な内訳としては、出入国・査証関係犯罪(184件、210人)、詐欺・同未遂(48件、78人)、麻薬(63件、69人)が挙げられ、いずれも前年に比べ増加している。特に、出入国・査証関係犯罪が対前年比で28.7%増とここ数年大きく増加している。

(4) 地域別では、アジア地域が5,645件(7,019人)と前年に引続き最も多く、次いで

で欧州地域4,121件(4,796人)、北米地域2,677件(3,033人)、大洋州地域1,026件(1,175人)、中南米地域559件(704人)、アフリカ地域321件(547人)、中近東地域124件(143人)となっており、過去12年間この地域別順位に変動はない。

(5) 在外公館別の援護件数の上位20公館を見ると、在広州総領事館(中国と在バルセロナ総領事館(スペイン)が在ホノルル総領事館(米国)と在スラバヤ総領事館(インドネシア)と入替わり上位20公館に入った他は、順位に変動はあるものの前年と同様の18公館が上位になっている。その内訳としては、在タイ大使館が前年に引続き1,874件と最も多く、次いで在ロサンゼルス総領事館(860件、前年4位)、在ロンドン総領事館(804件、前年3位)、在フランス大使館(733件、前年2位)、在フィリピン大使館(728件、前年5位)となっており、特に在タイ大使館は11年連続で全在外公館中、総援護件数が最高となっている。

(6) 海外全体での日本人の犯罪被害については、前年比で12.0%減となっており、中でも強盗被害(対前年比32.9%減)、窃盗被害(対前年比11%減)が大きく減少している。これは、インターネット等の普及により、外務省海外安全ホームページ等を通じて渡航先国の治安関連情報へのアクセスが容易になったことやここ数年発生しているテロ事件等の不安から旅行者等の自己防衛意識が高まって来ていることも要因と考えられる。一方、詐欺被害が14.7%増となっており、これはいかさま賭博、宝石・骨董品・洋服などの売り付け等詐欺手口の巧妙化に起因すると見られる。

< 件数 >

	総件数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	384	内	153	85	19	51	46	9	21
戦闘・暴動	12		2	1	1	3	0	0	5
犯罪加害	609	訳	301	185	12	67	29	3	12
犯罪被害	6,253		1,942	657	332	2,598	507	55	162
疾病	688		427	87	16	90	23	5	40
行方不明	113		60	28	4	15	2	2	2
その他	6,414		2,760	1,634	175	1,297	419	50	79
総数	14,473		5,645	2,677	559	4,121	1,026	124	321

< 人数 >

	総人数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	821	内	290	177	48	108	75	9	114
戦闘・暴動	54		14	1	1	3	0	0	35
犯罪加害	734	訳	345	232	13	76	43	3	22
犯罪被害	7,004		2,205	749	366	2,850	571	68	195
疾病	724		454	89	16	95	23	6	41
行方不明	119		60	31	4	17	2	2	3
その他	7,961		3,651	1,754	256	1,647	461	55	137
総数	17,417		7,019	3,033	704	4,796	1,175	143	547
内、死亡者数(人)	484		261	115	18	51	27	6	6
内、負傷者数(人)	699		287	85	61	111	68	9	78

2. 事件・事故件数の推移総括表（在外公館および交流協会（台湾）よりの報告ベース）

年度 年	総件数	内 容 別 件 数			総人数	死亡者数	負傷者数	[参考] 海外渡航者数 (法務省入国管理局統計)
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
1994 年度	10,812件 (前年比:12.2%増)	5,535件 (前年比:5.0%増)	2,539件 (前年比:10.1%増)	2,738件 (前年比:32.8%増)	12,213人 (前年比:16.0%増)	343人 (内犯罪被害16人)	336人 (内犯罪被害119人)	13,578,934人 (前年比:13.8%増)
1995 年	11,549件 (前年比:6.8%増)	5,977件 (前年比:8.0%増)	2,800件 (前年比:10.3%増)	2,772件 (前年比:1.2%増)	12,737人 (前年比:4.3%増)	379人 (内犯罪被害18人)	313人 (内犯罪被害120人)	15,298,125人 (前年比:12.7%増)
1996 年	12,663件 (前年比:9.6%増)	6,490件 (前年比:8.6%増)	3,028件 (前年比:8.1%増)	3,145件 (前年比:13.5%増)	15,261人 (前年比:19.8%増)	444人 (内犯罪被害23人)	407人 (内犯罪被害155人)	16,694,769人 (前年比:9.1%増)
1997 年	12,432件 (前年比:1.8%減)	6,275件 (前年比:3.3%減)	2,971件 (前年比:1.9%減)	3,186件 (前年比:1.3%増)	15,344人 (前年比:0.5%増)	468人 (内犯罪被害29人)	522人 (内犯罪被害161人)	16,802,750人 (前年比:0.6%増)
1998 年	12,818件 (前年比:3.1%増)	6,299件 (前年比:0.4%増)	2,825件 (前年比:4.9%減)	3,694件 (前年比:15.9%増)	19,898人 (前年比:29.7%増)	480人 (内犯罪被害18人)	464人 (内犯罪被害165人)	15,806,218人 (前年比:5.9%減)
1999 年	13,569件 (前年比:5.9%増)	6,482件 (前年比:2.9%増)	3,132件 (前年比:10.9%増)	3,955件 (前年比:7.1%増)	15,657人 (前年比:21.3%減)	462人 (内犯罪被害24人)	600人 (内犯罪被害292人)	16,357,572人 (前年比:3.5%増)
2000 年	14,754件 (前年比:8.7%増)	7,132件 (前年比:10.0%増)	3,261件 (前年比:4.1%増)	4,361件 (前年比:10.3%増)	17,141人 (前年比:9.5%増)	439人 (内犯罪被害19人)	881人 (内犯罪被害545人)	17,818,590人 (前年比:8.9%増)
2001 年	14,118件 (前年比:4.3%減)	7,714件 (前年比:8.2%増)	2,311件 (前年比:29.1%減)	4,093件 (前年比:6.1%減)	16,745人 (前年比:2.3%減)	467人 (内犯罪被害36人)	684人 (内犯罪被害287人)	16,215,657人 (前年比:9.0%減)
2002 年	14,364件 (前年比:1.7%増)	6,837件 (前年比:11.4%減)	2,166件 (前年比:6.3%減)	5,361件 (前年比:31.0%増)	16,996人 (前年比:1.5%増)	516人 (内犯罪被害28人)	670人 (内犯罪被害325人)	16,522,804人 (前年比:1.9%増)
2003 年	14,472件 (前年比:0.8%増)	5,947件 (前年比:13.0%減)	2,508件 (前年比:15.8%増)	6,017件 (前年比:12.2%増)	17,426人 (前年比:2.5%増)	483人 (内犯罪被害27人)	691人 (内犯罪被害278人)	13,296,330人 (前年比:19.5%減)

注 (1)海外渡航者数は歴年。邦人援護件数は1994年度（平成6年度）までは会計年度ごと、1995年（平成7年）以降は歴年ごとに取りまとめたもの。
(2)死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

3. 地域別件数の推移総括表

年度 年	アジア		北米		中南米		欧州		大洋州		中近東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1994 年度	3,689 17.7%増	4,244 30.5%増	2,420 2.0%減	2,750 2.5%減	363 8.7%増	441 8.1%減	3,529 17.0%増	3,846 20.2%増	471 27.6%増	551 32.1%増	101 2.0%増	105 2.8%減	239 12.2%増	276 9.5%増	10,812 12.2%増	12,213 16.0%増
1995 年	4,059 10.0%増	4,350 2.5%増	2,612 7.9%増	2,930 6.5%増	400 10.2%増	472 7.0%増	3,656 3.6%増	4,063 5.6%増	496 5.3%増	554 0.5%増	94 6.9%減	100 4.8%減	232 2.9%減	268 2.9%減	11,549 6.8%増	12,737 4.3%増
1996 年	4,351 7.2%増	4,842 11.3%増	2,939 12.5%増	3,351 14.4%増	381 4.8%減	930 97.0%増	4,053 10.9%増	4,481 10.3%増	514 3.6%増	961 73.5%増	135 43.6%増	160 60.0%増	290 25.0%増	536 100.0%増	12,663 9.6%増	15,261 19.8%増
1997 年	4,099 5.8%減	5,631 16.3%増	2,855 2.9%減	3,303 1.4%減	377 1.0%減	470 49.5%減	4,054 0.0%増	4,537 1.2%増	601 16.9%増	782 18.6%減	173 28.1%増	240 50.0%増	273 5.9%減	381 28.9%減	12,432 1.8%減	15,344 0.5%増
1998 年	4,296 4.8%増	10,318 83.2%増	2,805 1.8%減	3,147 4.7%減	380 0.8%増	484 3.0%増	4,261 5.1%増	4,602 1.4%増	699 16.3%増	797 1.9%増	136 21.4%減	173 27.9%減	241 11.7%減	377 1.0%減	12,818 3.1%増	19,898 29.7%増
1999 年	4,717 9.8%増	5,420 47.5%減	3,042 8.4%増	3,510 11.5%増	414 8.9%増	567 17.1%増	4,238 0.5%減	4,798 4.3%増	718 2.7%増	827 3.8%増	171 25.7%増	188 8.7%増	269 11.6%増	347 8.0%減	13,569 5.9%増	15,657 21.3%減
2000 年	5,015 6.3%増	5,943 9.6%増	3,230 6.2%増	3,595 2.4%増	423 2.2%増	501 11.6%減	4,763 12.4%増	5,403 12.6%増	905 26.0%増	1,207 45.9%増	162 5.3%減	180 4.3%減	256 4.8%減	312 10.1%減	14,754 8.7%増	17,141 9.5%増
2001 年	5,375 7.2%増	5,989 0.8%増	2,794 13.5%減	3,945 9.7%増	450 6.4%増	592 18.2%増	4,285 10.0%減	4,798 11.2%減	895 1.1%減	1,054 12.7%減	100 38.3%減	116 35.6%減	219 14.5%減	251 19.6%減	14,118 4.3%減	16,745 2.3%減
2002 年	5,643 5.0%増	7,242 20.9%増	2,668 4.5%減	2,913 26.2%減	468 4.0%増	552 6.8%減	4,286 0.0%増	4,740 1.2%減	972 8.6%増	1,115 5.8%増	112 12.0%増	123 6.0%増	215 1.8%減	311 23.9%増	14,364 1.7%増	16,996 1.5%増
2003 年	5,645 0.0%増	7,019 3.1%減	2,677 0.3%増	3,036 4.2%増	559 19.4%増	704 27.5%増	4,120 3.9%減	4,802 1.3%増	1,026 5.6%増	1,175 5.4%増	124 10.7%増	143 16.3%増	321 49.3%増	547 75.9%増	14,472 0.8%増	17,426 2.5%増

注：下段は対前年比

4. 2003年（平成15年）の取扱件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1874 件	11	在シドニー日本国総領事館	314 件
2	在ロサンゼルス日本国総領事館	860 件	12	在ブリスベン日本国総領事館	241 件
3	在ロンドン日本国総領事館	804 件	13	在バンクーバー日本国総領事館	234 件
4	在フランス日本国大使館	733 件	14	在スペイン日本国大使館	197 件
5	在フィリピン日本国大使館	728 件	15	在マレーシア日本国大使館	193 件
6	在上海日本国総領事館	641 件	16	在香港日本国総領事館	193 件
7	在ニューヨーク日本国総領事館	418 件	17	在サンフランシスコ日本国総領事館	192 件
8	在大韓民国日本国大使館	379 件	18	在広州日本国総領事館	177 件
9	在ミラノ日本国総領事館	377 件	19	在バルセロナ日本国総領事館	175 件
10	在イタリア日本国大使館	343 件	20	在オランダ日本国大使館	160 件

（参考）交流協会台北事務所：161件

5 .2003年(平成15年)の主な事件・事故の事例

(1) 事故・災害

航空機事故	03年 8月 03年 9月	北米最北端の北極海で邦人パイロット及び邦人乗客 1 名が搭乗する小型双発機が消息不明となった。 米国グランドキャニオンにおいて、ヘリコプターが墜落し、乗員乗客 7 名が死亡した(邦人 3 名死亡)。
登山事故	03年 1月 03年 6月 03年 7月 03年 1 0月	ニュージーランドのマウントクック山を登山中、滑落事故に遭い、邦人 1 名が死亡し、1 名が負傷した。 ペルーのアルパマヨ山を登山中の邦人が高山病により死亡した。 スイスのヴァイスホルン山登山中に邦人 2 名が滑落し、死亡した。 キリマンジャロより下山中の邦人が意識不明になり、死亡した。
レジャー・スポーツ事故	03年 1月 03年 3月 03年 8月	豪州でハングライダーが失速し墜落、邦人 1 名が死亡した。 豪州でスカイダイビング中に死亡。 グアム島でジェットスキーを運転中、杭に激突し、邦人 1 名死亡、児童 1 名が軽傷を負った。
その他の事故	03年 8月 03年 1 0月	米国ニューヨークにおいて大停電発生。 中国・西安で、日本人留学生の寸劇をきっかけとする騒動発生、邦人 2 名が負傷した。
交通事故	03年 7月 03年 8月 03年 9月 03年 1 1月 03年 1 1月 03年 1 2月 03年 1 2月	ハワイ・オアフ島で、観光バスが側溝に転落、邦人乗客 2 8 名が重軽傷を負った。 米国アリゾナ州の高速道路で、邦人旅行者運転の車が反対車線に飛び出しトラックと正面衝突、邦人 2 名が死亡した。 イタリアのサルディーニャ島にて、親子 3 人が歩行中自動車にはねられ、死亡した。 エジプトのカイロからアレキサンドリアに向かう高速道路にて、3 7 名の邦人を乗せたバスにトラックが衝突、邦人 3 名が負傷した。 エジプトのアレキサンドリアからギザに向かう砂漠道路で、追い越しをかけた観光バスが横転、邦人 2 9 名が重軽傷を負った。 エジプトのカイロからアレキサンドリアに向かう砂漠道路で、邦人 1 9 名を乗せた観光バスが雨でスリップし横転、全員が負傷した。 ペルーのクスコ近くで、邦人 2 2 名を乗せた観光バスが対向車との衝突を避けようとして急ブレーキをかけ横転、全員が負傷した。
(2) 戦闘・暴動	03年 3月 03年 3月	中央アフリカにおけるクーデターで邦人 1 名が重体、仏軍機により南アへ緊急移送され一命をとりとめる。 米国等によるイラクへの軍事行動開始
(3) 犯罪被害		
殺人		(2003年中に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件一覧(P 6)参照)
誘拐	03年 2月 03年 1 0月	フィリピン・セブ島で邦人が誘拐され、消息不明となる。 中国・瀋陽にて邦人旅行者が誘拐され、3 日後、中国公安当局に無事保護された。
強盗	同未遂	
窃盗	同未遂	(一般犯罪者による財産犯被害の特徴(P 7)参照)
詐欺	同未遂	
テロ	03年 8月 03年 1 1月	イラクのバグダッドにおいて国連機関の本部があるホテルで爆発事件が発生、2 2 名が死亡し、1 0 0 名以上が負傷した(邦人 1 名負傷)。 イラクのティクリットにおいて、日本人外交官 2 名が武装グループの襲撃により殺害された。
その他	03年 3月	イスタンブール発アンカラ行きトルコ航空機(乗員乗客 2 4 0 名、邦人 2 名)がハイジャックされた。アテネ空港到着後犯人は投降した。

6. 2003年(平成15年)の主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

(1)犯罪加害

出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反。旅券・査証の偽変造事犯等。
 詐欺 偽造クレジットカード行使
 麻薬犯罪 (麻薬犯罪者の傾向と詳細は、麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴(P 8)参照)

(2)その他の事例

疾病 疾病による死亡者は246名を数え、全死亡者の半数以上を占める。
 精神障害 (精神障害者の性別・年齢別特徴(P 8)参照)
 遺失 本人の不注意によるものが大半。
 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とのトラブルを起こしたケース。逮捕或いは国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害にて集計。
 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等の為、介在に転居した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

7. 2003年中に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

発生日	発生国	内容
2003年1月	メキシコ	自動車事故の相手方と口論になり、銃弾4発を受けて殺害された。
2003年2月	ニュージーランド	オークランドのコロンブスアカデミーにおいて、同アカデミーの邦人学生が撲殺された。
2003年3月	インドネシア	ジャカルタ近郊の自宅にて、邦人女性が同人の雇用する現地人運転手に刺殺された。
2003年5月	タイ	日本人男性が同宿の日本人女性を殺害した。
2003年5月	フィリピン	マニラ在住邦人が自宅で就寝中、何者かの銃撃を受け死亡した。
2003年6月	パキスタン	ラホール空港近くの空き地で邦人旅行者が殺害された。
2003年6月	米国	ラスベガスのアパートにて、邦人女性が絞殺死体で発見された。
2003年6月	米国	グアムにおいて、邦人留學生が絞殺された。
2003年6月	タイ	パタヤ市で在留邦人が何者かに殺害された。首に20カ所、胸に9カ所の刺し傷があった。
2003年9月	ボリビア	サンタクルス在住の邦人女性が自宅敷地内にて頭部を強打され、殺害された。
2003年10月	フィリピン	セブ島にてタクシーから下車中の在留邦人が何者かに背後から銃で撃たれ死亡した。
2003年11月	ブラジル	リオデジャネイロの自宅で何者かに頭部を殴打され、殺害された。

8. 一般犯罪による財産犯（窃盗・強盗・詐欺）被害件数と手口

区分	件数	地域別							人数	性別			年齢						
		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中近東	アフリカ		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明
窃盗																			
置き引き	2,293	624	269	96	1,093	165	13	33	2,481	1,550	902	29	82	644	561	353	395	276	170
レストラン	526	133	71	11	258	50	3	0	573	281	290	2	16	156	122	75	99	74	31
空港	211	44	35	8	113	8	1	2	242	168	70	4	11	34	52	43	45	35	22
ホテル	378	125	49	11	164	21	1	7	417	272	136	9	3	79	75	66	84	72	38
デパート	61	37	13	0	10	1	0	0	64	34	30	0	4	12	18	12	8	7	3
列車・長距離バス	340	60	2	32	228	5	3	10	356	265	90	1	5	119	91	54	46	32	9
路上・地下鉄	133	25	14	6	75	6	2	5	146	93	46	7	5	41	25	20	26	17	12
その他	644	200	85	28	245	74	3	9	683	437	240	6	38	203	178	83	87	39	55
スリ	1,246	372	34	43	744	24	13	16	1,326	750	565	11	42	415	261	132	219	166	91
話掛け	132	21	4	3	94	6	1	3	140	90	50	0	2	55	32	12	20	11	8
道案内依頼	49	47	0	0	2	0	0	0	49	49	0	0	1	23	11	7	7	0	0
子供のスリ集団	21	4	0	1	15	0	1	0	23	12	10	1	0	7	7	0	4	4	1
集団スリ	146	28	0	8	105	1	3	1	157	97	58	2	1	35	17	17	43	29	15
ケッチャップ、コイン落とし	62	5	1	6	46	2	0	2	70	46	21	3	1	26	10	5	16	5	7
その他	835	266	29	25	482	15	8	10	886	455	426	5	37	269	184	91	128	117	60
その他	1,292	311	261	64	408	199	8	41	1,475	880	570	25	67	455	351	205	179	86	132
車上狙い	447	56	155	10	147	69	1	9	534	399	129	6	21	161	148	91	69	13	31
空巣	295	92	45	12	48	75	3	20	333	191	134	8	27	99	81	43	28	16	39
ひったくり	309	72	23	23	159	27	2	3	336	107	226	3	10	103	64	33	58	41	27
その他	241	91	38	19	54	28	2	9	272	183	81	8	9	92	58	38	24	16	35
強盗																			
強奪/バイク	110	50	0	2	57	0	1	0	120	44	74	2	2	43	20	18	19	14	4
強奪/車	11	2	0	5	2	0	0	2	11	6	4	1	0	3	1	1	2	0	4
強奪/その他	129	27	14	23	33	14	2	16	161	103	49	9	4	37	30	19	18	16	37
睡眠薬強盗	85	69	0	0	11	0	3	2	92	86	5	1	1	53	20	7	1	3	7
侵入強盗	132	34	9	14	29	28	1	17	150	90	59	1	6	58	21	15	20	7	23
カージャック	16	9	1	2	2	2	0	0	19	13	6	0	0	3	8	1	4	2	1
羽交い締め強盗	125	5	0	26	83	4	1	6	132	84	47	1	0	44	26	19	19	13	11
その他	78	12	5	22	23	4	0	12	102	69	29	4	2	32	23	27	0	6	12
詐欺																			
いかさま賭博	129	129	0	0	0	0	0	0	133	85	47	1	1	74	26	5	6	2	19
暴力キャッチパー	10	3	0	0	7	0	0	0	12	12	0	0	0	5	3	1	2	0	1
宝石詐欺	46	44	0	0	0	0	0	2	66	43	21	2	0	29	2	2	1	0	32
偽警官・ガイド	43	16	0	5	20	0	1	1	47	40	7	0	1	16	10	0	6	4	10
寸借詐欺	30	13	3	0	5	9	0	0	36	19	17	0	0	9	7	1	4	0	15
その他	172	68	21	5	49	19	0	10	207	107	90	10	3	55	31	17	11	15	75
合計	5,947	1,788	617	307	2,566	468	43	158	6,570	3,981	2,492	97	211	1,975	1,401	823	906	610	644

区分の説明：「窃盗」の「その他」欄は、主にデパート、ビーチ、公園、ゲームセンター、駅構内等。

「スリ」被害のほとんどは無意識のうちに被害にあっており、具体的手口等の細分化が困難であるので、スリ被害の大半はその他欄に記載した。

上記「強盗」「強奪」の「その他」欄は、そのほとんどが数名の集団による強奪被害。

主な手口（1）窃盗（スリ被害）：東南アジアにおいて、タクシーに乗車中の女性が道案内を依頼するふりをして邦人男性（主に20代）に声をかけ、車内に乗車させた後、広げた地図の下から貴重品を奪う。

（2）詐欺（売りつけ詐欺）：東南アジアを中心に20～30代の邦人を標的に高価な宝石・盗品・洋服等を売りつける。

（3）詐欺（いかさま賭博）：言葉巧みにトランプ賭博等に誘い入れ、金を巻き上げる。

（4）強盗（強奪）：欧州地域を中心として、路上（観光地周辺）、駅構内等において、特に単独旅行者および女性グループを標的に数名のグループが所持品を強奪する。

9.麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び安否照会者の性別・年齢別特徴

麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	46	43	3	0	0	19	11	6	6	3	1	1	41	4
北米地域	5	3	2	0	0	1	3	1	0	0	0	3	1	1
中南米地域	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0
欧州地域	11	9	2	0	0	4	6	1	0	0	0	0	7	4
大洋州地域	4	3	1	0	0	3	0	0	0	0	1	3	1	0
中近東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	69	61	8	0	0	30	20	8	6	3	2	7	53	9

麻薬犯罪は20代・30代で3分の2以上を占める。

旅行者が大多数

疾病者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	456	346	107	3	20	57	65	64	104	117	29	253	195	8
北米地域	89	54	35	0	4	5	15	9	13	30	13	35	44	10
中南米地域	16	12	4	0	0	2	1	0	4	6	3	8	8	0
欧州地域	96	58	38	0	4	19	7	6	12	27	21	45	45	6
大洋州地域	23	17	6	0	1	3	2	2	1	10	4	9	13	1
中近東地域	6	5	1	0	0	2	1	1	1	0	1	1	4	1
アフリカ地域	41	23	18	0	0	14	14	5	5	1	2	22	17	2
合計	727	515	209	3	29	102	105	87	140	191	73	373	326	28

精神障害者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	95	64	29	2	0	15	27	18	15	10	10	30	57	8
北米地域	78	38	40	0	2	18	23	7	8	10	10	35	40	3
中南米地域	3	1	2	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0	0
欧州地域	72	22	47	3	0	18	21	7	2	2	22	34	31	7
大洋州地域	19	9	10	0	3	4	4	2	3	1	2	11	7	1
中近東地域	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
アフリカ地域	3	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0
合計	271	136	130	5	5	56	78	36	29	23	44	114	138	19

行方不明者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	60	46	14	0	4	11	16	6	6	4	13	20	33	7
北米地域	31	15	16	0	5	9	5	2	2	2	6	13	14	4
中南米地域	4	2	2	0	0	0	0	1	0	2	1	3	1	0
欧州地域	17	9	8	0	0	6	3	1	4	1	2	5	11	1
大洋州地域	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
中近東地域	2	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0
アフリカ地域	4	3	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	4	0
合計	120	78	42	0	9	27	25	11	13	12	23	44	63	13

安否照会者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	229	177	51	1	9	69	37	27	21	12	54	60	131	38
北米地域	98	53	44	1	5	27	22	4	5	8	27	60	21	17
中南米地域	14	7	7	0	0	6	1	0	0	1	6	5	9	0
欧州地域	51	15	36	0	2	16	12	5	2	0	14	32	14	5
大洋州地域	23	10	13	0	1	13	1	2	0	0	6	14	5	4
中近東地域	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
アフリカ地域	9	4	5	0	0	4	0	1	1	1	2	3	4	2
合計	425	267	156	2	17	135	73	39	29	23	109	175	184	66